

イラク派兵に反対する国民の動きを監視・収集する違憲・違法な暴走



自衛隊が国民を監視



自衛隊が国民を監視する暗黒社会はゴメン。みんなで憲法を守りましょう

自衛隊のイラク派兵に反対する国民の動きを監視せよ。自衛隊の情報保全隊が国民を監視し、動きを収集、報告していたことが明るみに出ました。その対象は市民団体、労組や共産党から民主党まで広範な人々に及びます。「昔の憲兵の復活を思い起こさせられる」——こんな不安と怒りの声がひろがっています。



マスコミも厳しい批判

新聞各紙でも大きく報道し、きびしい批判をしています。「朝日」は社説で「自衛隊は国民を監視するのか」と題する社説を掲載しました。「東京」は「戦前・戦中の特高警察を想起させる情報収集活動は、その正当性がなおさら問われる」と解説しています。

イラク派兵は継続、市民を監視し、海外で戦争へ

新聞社の取材まで監視

自衛隊の情報保全部隊が、3年前、自衛隊のイラク派兵に反対する動きを監視、収集し、報告をしていました。市民団体や労組、政党の動きを監視し、集会やデモを写真撮影するだけでなく、新聞社の取材の動きまで収集していました。この事実は、日本共産党の志位委員長が記者会見で明らかにしたものの。

「医療費値上げ反対」まで監視

驚くことに、イラク派兵反対だけでなく、「消費税増税反対」「年金制度改悪反対」「医療費負担増の凍結・見直し」などくらしを守る署名活動まで監視、収集、報告しています。文字どおり、国民生活すべてを軍隊が監視していたわけです。

日本の民主主義と平和が問われる

集会や結社、言論の自由を保障する憲法に違反するもので、だいたい自衛隊にこんなことをする権限はありません。日本の民主主義と平和にかかわる重大問題です。違憲・違法な活動の全容を明らかにさせるとともに、即時中止させましょう。